



# 国産BIMだからこそ実現可能な 設計初期段階での法規チェックに注力

株式会社建築ピボットは、「DRA-CAD」など設計支援パッケージ製品を開発・販売する株式会社構造システムの子会社として2004年に設立されました。もともと1社で扱っていた製品を顧客に応じて3社に分け、株式会社構造システムが建築構造に関するプログラムを、株式会社建築ピボットがCADやBIMなど建築設計で利用できるプログラムを、株式会社FMシステムが建物や施設の運営・管理に関するプログラムを開発しています。現在、CAD・BIMの技術を用いたプログラムと、建築法規を確認できるシステムを開発・販売している株式会社建築ピボット 千葉貴史社長に、主な製品についてうかがいました。

## 30年前の図面データや 他社のフォーマットも編集可能

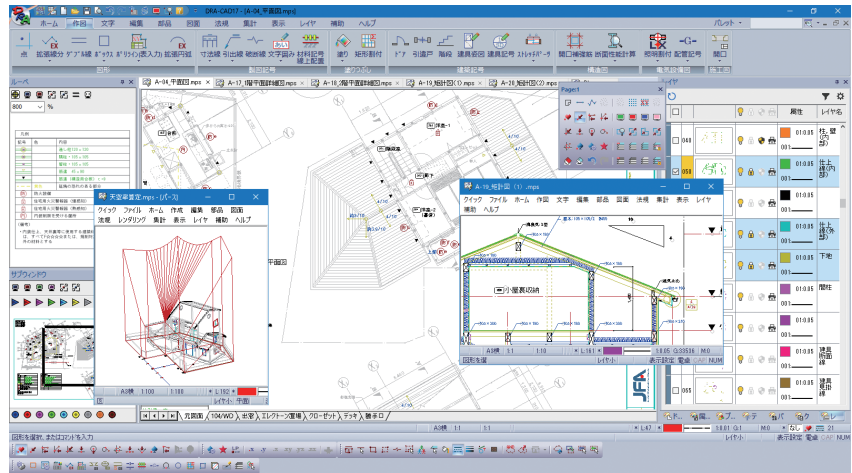
当社は、設計の基盤となるCADや建築法規の確認を行うシステム、省エネルギーや環境に配慮した設計を支援するシステムを開発しています。

建築設計CAD「<sup>ドラキヤド</sup>DRA-CAD」は、2年前に発売から30年を迎えました。毎年のように機能を追加しながらバージョンアップを重ねてきました。基本機能の充実はもちろん、プレゼンテーション用のパースを作るのに便利な形状をモデリングできる3次元機能、さらにこの機能を拡張するかたちで、日影計算や天空率計算など建築法規のチェックができる専門機能が充実しています。

また、AutoCAD、Jw\_cadなどさまざまなデータフォーマットとの互換性に優れており、データはあっても読み込めないということのないように、互換性を担保することに努めています。30年前の図面データも読み込んで編集し直すことができますので、データ変換ツールとして利用されているお客様もいらっしゃいます。PDFをCADデータに変換することも可能です。

## 法適合確認ができる3次元ソフト

3次元建築設計システム「<sup>アイアーム</sup>i-ARM」は、BIM機能を搭載した3次元ソフトウェアです。「DRA-CAD」が線分や面といったプリミティブな形のデータを扱うのに対し、建築を柱、梁、壁、床というようにオブジェクトとしてモデル化し、管理することができます。



「DRA-CAD」の作業画面

(データ提供：深澤准一建築設計室 様)

ただ、皆さんが思い浮かべるBIMとは少し違い、「i-ARM」は3次元モデルと地図情報などを利用して、ボリューム算定や法規確認をしたり、日射量や天空率などの解析ツールの充実に力を入れています。設計初期段階は敷地調査や法規確認など煩雑な作業が多くあります。我々は国産のメーカーですので、日本の建築法規に対応し、設計者の皆さんが設計初期の段階で十分に法規を確認・検討していただけるように、確実にサポートしていきたいと考えています。

「i-ARM」は、Office365のように、年間使用料のみでいつでも最新版を使用することができます。初期費用やバージョンアップ費は必要ありません。

## プログラム同士の連携

その他、選択肢の多い設計初期段階で省エネ計算ができる「SAVE-建築」・「SAVE-住宅」や、避難安全検証法の検証計算(ルートB)を行う「避難検証法」、日影・天空率・斜線・日射量を計算する建築計画ソフトウェア「LAB-SS」などがあります。

そしてこれらは他のプログラムと連携することができ、例えば「i-ARM」でモデリングしているデータを使って「避難検証法」で計算することも可能です。

当社のプログラムは、使いたい時に必要な期間だけライセンスを取得する、レンタル形式のサービスも提供しています。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。



<https://www.pivot.co.jp/>

CAD・BIMの技術を利用して、建築設計のさまざまな場面で利用できるWindows向けプログラムを開発。日影、天空率、避難などの建築法規の確認を行う設計支援システムも扱う。

〒112-0014 東京都文京区関口2-3-3 目白坂STビル6F TEL:03-6821-1691 FAX:03-5978-6215

■製品についてのお問い合わせは、本社営業まで、上記電話かFAXでご連絡ください。